



米国食肉輸出連合会は、日米の食肉業界の飛躍に貢献できるよう努力しております。

Trader's Be&Po

米国食肉輸出連合会 (USMEF) <http://www.americanmeat.jp>

Volume 012 Sep 06, 2004

Trader's Be&Poはメールでもお届けします。ご希望の方は、下記にご記入の上、FAX返送してください。

お名前 様 メールアドレス @

FAX番号 03-5542-2912

「Trader's Be&Po」はインターネットでもご覧いただけます。
ご希望の方は、下記URLからダウンロードしてください。
<http://www.americanmeat.jp/publications/tnf.html>

★「Be&Po」とは、Beef(牛肉)とPork(豚肉)を合わせた言葉で、アメリカン・ミートがもたらす豊かな食の世界を表現しています。

BSE関連ニュース

●輸入禁止措置で1頭当たり80ドルの損失

弊連合会本部の試算によると、各国の米国産牛肉の輸入禁止措置による損害額は、輸出用プレミアムアイテムで1頭当たり79.35ドル、年額では22億3,800万ドルにも上る。

米国内の需要は少ないが、日本や韓国の輸入に依存するカットやバラエティミートに大きな影響が出ている。(2003年度では、ショートプレートが日本の牛肉輸入の4~6割、ショートリブは韓国の牛肉輸入の4割を占める)

※2004年8月23日 Cattle Buyers Weekly

BSE関連輸入禁止に伴う輸出用プレミアム損害額内訳
(上位10アイテム) 推定額 単価: \$

部 位	BSE前	2005年7月	損害額/lb
ショートプレート	1.80	0.55	1.25
タ ン	4.25	0.80	3.45
スカート	3.11	1.60	1.51
トライブ	0.99	0.45	0.54
チャックロール	1.66	1.45	0.21
腸	0.55	0.02	0.53
リブフィンガー	2.45	0.90	1.55
ショートリブ	2.37	1.20	1.17
レバー	0.35	0.21	0.14
ハンギングテンダー	2.00	1.40	0.60

出典:現行の農務省(USDA)価格に基づく試算
米国食肉輸出連合会(USMEF)

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

牛肉市況(8月16日~20日)

●週間と畜頭数 : 63.6万頭(前年比13.1%減)。

●肥育牛の取引価格 (100ポンド[約45kg]当たり) :
主要5市場では、平均87.00ドル(前週比2.57ドル高)。
枝肉価格は平均136.60ドル(同2.65ドル高)。

●牛肉価格 : 歩留まり等級3(YG3)のチョイスは、
139.38ドル(前週比3.74ドル高)。YG2~3のセ
レクトは、133.18ドル(同3.39ドル高)。

主要12州¹⁾のフィードロット内頭数²⁾、前年比2.0%増

(2004年8月1日現在)

	2004年 ³⁾	対前年
7月1日現在フィードロット内頭数 ⁴⁾	10,117	102.0%
7月導入頭数	1,720	86.0%
7月出荷頭数	1,926	85.0%
7月のその他の消失 ⁵⁾	58	97.0%
8月1日現在フィードロット内頭数 ⁴⁾	9,858	103.0%

オクラホマシティーにおける去勢牛の体重別、
100ポンド(約45kg)当たりの価格(US\$)

体重(ポンド)	8月16日~8月20日
400~500	134.00~147.00
500~600	119.00~136.00
600~700(子牛)	119.00~126.00
600~700(若齢牛)	123.50~127.50
700~800	114.00~124.25
800~1000	106.75~117.50

※2004年8月20日 Cattle Outlook
(Glenn Grimes & Ron Plain)

注:1.アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、
カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、
サウスダコタ、テキサス、ワシントン

2.収容頭数1,000頭以上。

3.単位:1,000頭。

4.穀類あるいは他の濃厚飼料を主食とし、セレクト以上として肥
育される、と畜用の牛、子牛。

5.死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。

※2004年8月20日Cattle On Feed(Glenn Grimes & Ron Plain)



米国食肉市場ニュース

～ 豚肉 ～

豚肉市況(8月16日～20日)

- 週間と畜頭数：202.5万頭(前年比7.9%増)。
- 肉豚の現金取引価格：主要市場の価格は、横這いもしくは前週比2.50ドル安で推移。枝肉は前週比で1.08～2.12ドル安。
- 成豚の重量別取引価格：今週も堅調で、電話取引価格は前々週比で横這いから若干安値で推移。重量別取引価格は、40～50ポンドが98.00ドル、50～60ポンドが80～90ドル、60～70ポンドが81.50～88.00ドル、70～80ポンドが80.50ドル。

●7月1日以降、と畜頭数は予想を2%上回り、前年比4%増の状態が続いている。しかし需要が堅調なこともあって、8月20日の現金取引価格は前年比40%高を記録した。このペースが続くと、第4四半期のと畜頭数は記録的な数字になるとみられ、今年後半の豚の価格は6月度レポートの予測価格より多少下がる可能性もでてきた。

主要市場における100ポンド(約45kg)当たりの最高価格(US\$)

185ポンド物(約83.5kg)の枝肉平均価格(US\$)

	8月20日		8月20日
ベオリア	50.00	東部トウモロコシ地帯	71.57
セントポール	52.00	西部トウモロコシ地帯	72.31
スーフォールズ	53.00	アイオワ・ミネソタ	72.89
ミズーリ中央部	49.50	全 国	71.96

※2004年8月20日Hog Outlook (Glenn Grimes & Ron Plain)

業界ニュース

●フィードロット内頭数の増加続く

夏場の牛肉売上不振の影響で、と畜率、出荷数が落ち込み、フィードロット内頭数が増加している(8月16日の週では、120日以上の子牛フィードロット内頭数:前年比40%増、7月度出荷頭数:同10%減)。出荷のおくれによるフィードロット内頭数は週を追って膨らんでおり、市場での影響力を維持するには、肥育業者は出荷頭数を増やす必要がある。

9月後半にパッカーの勢力が増しても、生体牛価格が70ドル台に落ちるわけではないが、ボックスビーフの価格が一定レベルまで上がらないと、市場の上昇傾向に歯止めがかかるとアナリストは見ている。牛肉価格を150～155ドル(カットアウトベース)以上にするには、牛肉需要の大幅な改善が必要。生体牛の取引価格が、再度夏場の低レベルである82ドル台になる可能性も否定できないという意見もある。

※2004年8月16日Cattle Buyers Weekly

●カーギル社、今期の業績過去最高に

同社は今期(2004年5月期)、価格変動や輸出中断にも関わらず、純利益13億3,000万ドルを達成した。特に第4四半期は、狂牛病騒動や鳥インフルエンザによる輸出中止のあおりを受けながらも食肉事業で健闘し、前期純利益1億4,100万ドルを38%上回る1億9,500万ドルを記録した。

※2004年8月16日Cattle Buyers Weekly

●米国消費者、食品への信頼揺るがず —ギャロップ社調査

ニューヨークとイリノイ州で、腸管出血性大腸菌(O-157:E-coli)が集団発生した直後に同社が実施した消費者意識調査(期間:7月8～11日、対象:全米の成人1,005名)で、31%が食品に対し「高い信頼を寄せている」と回答した(2002年には19%)。食品の安全性についても、87%が「信頼している」と答えて前回の85%を上回り、BSEやO-157発生にも関わらず、食品の安全性への高い信頼を示した。(8月18日付オマハ ワールドヘラルド紙)

※2004年8月16日MyCattle.com



業界ニュース

●**個体識別システム拡充で安全対策整備を** —AFBF、議会公聴会で発言

アメリカ農業会連合会 (AFBF) 豚諮問委員会のコリアー委員長は、下院農業小委員会で発言し、現在各州や業界の一部で実施されている家畜個体識別システムについて、全国的な拡がりや統合を目指して農務省主導の体制で推進するよう訴えた。同氏はコストは政府、業界が公平に負担してシステムを拡充し、迅速な疾病の感染経路確認、対応につなげ、食品の安全性、畜産業界の保護を強化すべきと述べている。

※2004年8月18日 fb.org.